

令和2年度 第2回秦野市教科用図書採択検討委員会 会議録（要点筆記）

令和2年7月3日（金）

9：00～16：30

秦野市役所教育庁舎3階A～C会議室

事務局 ただいまより、令和2年度第2回秦野市教科用図書採択検討委員会を開催します。採択検討委員長よりごあいさつをお願いいたします。

委員長 おはようございます。今年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から、事務局より第1回の検討委員会を書面で開催する旨の提案があり、委員が集まるのはこの会が初めてということになりますが、改めてどうぞよろしくをお願いいたします。

本日は調査員より調査結果の報告があるということで、いよいよ来年度の中学校教科用図書の採択も山場を迎えようとしています。

秦野市として秦野の子どもたちによりよい教科書、自信を持って推薦できる教科書は何なのか、責任の重さを皆さんとともに感じつつ与えられた役割を果たしていきたいと思えます。

本日の会議は、中学校全種目の教科用図書を検討していただくこととなります。本市の中学校の生徒のために、多くの意見を出していただき、活発な協議としていきたいと思えます。ご協力をよろしくお願い致します。

調査研究にあたっては、第1回の書面開催に際して事務局より報告があったかと思えますが、3市2町合同で調査員会を組織しました。本日は秦野の調査員に来ていただいておりますので、調査研究の結果の報告を聞き、その後質疑、協議を行っていきたくと考えております。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

委員長 それでは、皆様のご協力をいただきながら進めていきたいと思えます。では初めに、全員集まるのはこれが初めてのことで、委員の皆さんから御所属やお名前等、簡単に自己紹介をいただきたいのですが、よろしいでしょうか。

委員 【自己紹介】

委員長            ありがとうございました。それでは、事務局から本日の流れについて説明をお願いします。

事務局            ただいま10名の委員のご出席をいただいています。秦野市教科用図書採択検討委員会設置要綱第5条第2項の規定により、過半数のご出席をいただいておりますので会議が成立していることをご報告します。

また、本日は秦野市PTA連絡協議会のご推薦を受けた保護者代表の方にもご出席をいただいております。よろしくをお願いします。

次に資料の確認をさせていただきます。事前に資料を送付させていただきました。神奈川県教育委員会から送付されました、「中学校教科用図書調査研究の結果」と、中地区3市2町の調査員が共同調査いたしました「中学校用教科用図書採択調査研究の結果」でございます。

前者は、県教育委員会が調査員を集めて作った資料です。後者は、中教育事務所管内の3市2町の中で調査員を集め、前者の資料も参考にしながら作成をしたものです。本日は、後者の方を基に調査員が報告することになりますのでよろしくお願いいたします。

事務局            第1回検討委員会の内容の確認をさせていただきます。

- ・ 秦野市教科用図書採択検討委員会設置要綱
- ・ 教科書の定義について
- ・ 神奈川県「令和3年度義務教育諸学校使用教科用図書採択方針」
- ・ 秦野市の教科用図書採択方針及び、令和2年度秦野採択地区教科用図書採択の流れ等について

等について確認させていただきました。

また、今回の委員会は非公開で行われますが、採択までの透明な手続きも求められていますので、情報公開の請求があった場合は応じることについては前回の書面開催と同様でございます。

事務局            本日の進行ですが、今回はまず、お手元の予定表にのっとって、中学校16種目の審議を行います。各調査員が今年度新たに検定を通りました各者について、お手元の平塚地区、秦野地区、伊勢原地区、大磯地区、二宮地区の共同調査研究の結果を報告します。その後、報告についての質疑の時間をとり、終了した時点で、調査員は退席します。

ただし、再質問の希望があれば再入室をしてもらうことも可能です。その後で、採択検討委員の皆様で教科書についての審議をお願いいたします。

前回は資料でお伝えしましたが、採択は教育委員会会議で行いますので、この採択検討委員会では1つに絞るということではなく、あくまでも各者の教科書の特徴等について審議し、内容をまとめて報告するという役割になりますので、審議内容につきましては、報告書にまとめて、教育委員会に提出します。

そのために、いろいろなご意見を幅広く出していただくことが大切だと思いますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

委員長            ありがとうございました。今の事務局の説明で、何か質疑や意見はありますか。

委員               なし

委員長            それではこれから国語についての検討に入ります。調査員に入室いただき、報告をお願いいたします。

**【国語】           【調査員の入室・報告】**

委員長            それでは、ただ今の報告について、質疑をお願いします。

委員               2点あります。1点目は、仮にコロナウイルスの第2波、第3波の影響で学習内容を1年間で終えることができなくなった際に、次年度に前年度の学習を振り返りながら進めることになると思いますが、その際に使用する教科書が前年度と別のものになったとしても学習上の問題はないのか。

2点目は、光村図書の報告で論理的な言葉の話があったと思いますが、東京書籍の後ろに論理的な言葉を培うということで3年間にわたっての比較分類や、図や表に整理して多面的に考えていくというものもありました。似たようなものは各教科書の中で同じような形で構成されているものなのでしょうか。

調査員 1点目の教科書が変わった際の引継ぎについてですが、中学校の場合は漢字の学習内容について学年毎に明確に決められているわけではなく、3年間をかけて常用漢字の中の習っていないものを網羅できるように学習を進めていきます。1年生では何字程度、2年生で何字程度となっております。教科書の内容に改訂があった際には、各出版社のほうから、この漢字を追加してください、ということで移行措置の漢字が各中学校のほうに来ております。

ですから、もし教科書が変わった時にも、移行措置ということで未履修の漢字につきましては、この部分については未履修です、ということだけでいただくと考えています。

また、国語の場合は、学習内容を積み上げ思考力を深めていくという教科の特性がございますので、教科書が変わったことによって子どもたち自身に大きな不利益はないかと思えます。ただ、教える側の職員が対応するのに、教材研究等、一層やらなければいけないということはございます。

2点目、論理的、多面的な言葉を培うということでは、どの出版社につきましても、論理的な思考について、子どもたちが考えるような工夫を各教材の中で取り扱っております。形がいろいろ違うのでわかりにくいかもしれませんが、それぞれの出版社でそういった単元はございます。

委員長 よろしいでしょうか。他いかがでしょうか。

委員 お願いします。中学校に入ると古文が正式に入ってくると思いますが中学校で初めてだと思えます。教材はどの教科書も「竹取物語」が選ばれていると思えますが、それぞれの教科書で子どもが本格的に学習するにあたって、何か特徴的なものはありましたか。

調査員 古典については、各出版社とも大体取り上げている題材は同じです。1年生につきましては、「竹取物語」、2年生では「徒然草」「枕草子」「平家物語」、3年生になりますと、松尾芭蕉の「奥の細道」などが取り上げられておりますけれども、古文と現代語訳の取り扱い、または解説文の載せ方が若干違います。

東京書籍では、古文と現代語訳は別々に書かれておまして、解説文よりも古文の字のほうが大きく見やすいつくりとなっております。

三省堂も、古文と現代語訳が別になっておりますし、古文の字が大変大きいですが、解説文の量も大変多いです。

それから教育出版につきましても古文と現代語訳が別になっておりますが、古文と現代語訳の文字の大きさが同じ大きさになっていました。

光村図書につきましても、古文の横に現代語訳が併記されているような形になっておりました。ただ古文と解説文は文字のフォントが違いますので、そこで見分けるようになっていないかと思えます。

委員長 よろしいでしょうか。その他、いかがでしょうか。

委員 子どもたちの読書離れというものが話題となっており、各出版社いろいろな本が紹介されていると思うのですが、先生から見て、この出版社が紹介の仕方に特徴がある、あるいは工夫されているといったことにお感じになっている出版社があったら聞きたいのですけれども。

調査員 読書につきましては、どの出版社も、多方面のテーマに基づいた本をたくさん紹介しております。

東京書籍につきましては、「読書への招待」というところで、いわゆる名作といわれる「トロッコ」や「坊っちゃん」、「最後の一句」といった本を具体的に紹介し、あとは、読書活動として1年生では図書館の利用の仕方、2年生ではビブリオバトル、3年生では読書会についての教材が提供されております。

三省堂では「私の読書体験」として有名な方のコラムが載っております。1年生ですと又吉直樹さん、2年生ですと小川洋子さん、3年生ですと宮下奈都さんなどの、著名人の読書体験がコラムとして書かれております。読書活動では1年生は読書会、ブッククラブと呼ばれておりますが、2年生ではビブリオバトル、3年生ではブックトークといったものを取り上げております。

教育出版でも、「読書への招待」として、名作と呼ばれている作品が取り上げられていまして、1年生では「蜘蛛の糸」、2年生では「坊っちゃん」、3年生では「最後の一句」が取り上げられております。こちらでは学びを進めるキーワードというのを全面的に打ち出しておりますので、SDGs に関するような本を分類して紹介してお

ります。読書活動としては、1年生はポップづくりや本の帯づくり、2年生ではレポート作成、3年生ではビブリオバトルの読書活動が教材として取り上げられております。

光村図書では読書コラムとして著名人のコラムが載せられておりまして、1年生は宮崎駿さん、2年生では鴻巣友季子さん、3年生では森絵都さんのコラムが掲載されております。読書を楽しむ活動として、1年生はポップづくり、2年生は本の紹介合戦、ビブリオバトルのことだと思っておりますけれども、3年生はブックトークといった様々な活動が紹介されております。どの出版社も色々と工夫を凝らした読書活動を展開しております。

委員長 他、いかがでしょうか。

委員 他教科とのつながりということでは、各者でどんな工夫がされていますか。

調査員 東京書籍では「教科関連マーク」がそれぞれの教材のところに明記されていて、他教科との関係があることが分かるようになっております。他教科との関連ということを考えた教材選びがされておりまして、特に説明的文章やコラムのようなものについては、国語だけではなく表現や対話、思想や自然科学、環境や福祉医療などの多方面にわたる題材を取り上げるように工夫されているのが分かります。

委員長 他、いかがでしょうか。大体よろしいでしょうか。調査員の先生、ありがとうございました。

#### 調査員退出 以後、審議

委員長 それでは検討委員の皆さんの意見をお願いしたいなと思っております。様々な質問がありましたけれども、何か皆さんと共有したいことですか、ここは、というところはございますか。よく教科書を説明していただいたかなと思っておりますけれども。

委員 先ほど話題に上がった読書活動についてなんですけれども、私も

ざっとしか見ていないのですが、東京書籍さんの「本で世界を広げよう楽しもう」では、本の表紙とリードみたいなものが載っているのですね。数行ですけれども、それが一つの特色かな、と個人的に思いながら見ておりました。

委員　　私は違う観点なのですが、先ほどの報告で論理的な言葉の力を培うというのが、各者散りばめられているとお答えいただいているのですが、自分が見た限りでは東京書籍は後ろのほうにしっかりと3年間、段階を追って学んでいく・考えていけるよううまくまとまっていて、素晴らしいなと思いました。他者もまとまっていると思うのですが、すごく特徴的だなと思いました。

委員長　　ありがとうございました。本当にご意見等でよいので、いただければと思うのですが、いかがでしょうか。

私は子どもがとっつきやすい、入りやすい教科書を、というところはいつも思うのですが、ご意見いかがでしょうか。

委員　　三省堂の特色として、小説の題材の後ろに人間相関図のようなものが図示されているのが特徴かなと思います。これが使いやすいか使いにくいかは教員によりますが、とっつきやすさというところから行くと、子どもにとっては見やすいのかなと。ただそれが授業のしやすさという視点で考えますと、どうなのかなというところで両面ではありますが、1つ特色かなと思います。

委員　　6年生が中学生になることを考えて、そういった観点で行くと、三省堂はとっつきやすいのかなと思ったところはあります。色分けなどがされており見た目で見やすいですし、最後のほうにも説明文の構造などが整理されている印象を受けました。

委員　　2点ありまして、グループディスカッションですとかお互いの意見交換ですとかは、今社会に出ると普通になっているので、そういった観点からも分かりやすいものがあるのかなと思います。

三省堂さんの教科書を見ると、資料の表現の仕方や情報分析といった内容の取り扱いもあるので、こういったものも組み合わせることで、実践的で社会にあるようなものになるのかなと思いました。

委員長 他にはございますでしょうか。それではこれで国語につきましては終了したいと思います。

【書写】 【調査員の入室・報告】

委員 教育出版社の報告の中で国語との関連というお話があったと思うのですけれども、その関連というのは教育出版社との関連ということですか？

調査員 実際に扱われているのは「走れメロス」や「竹取物語」といった、どの出版社とも共通して掲載されている作品なので、出版社が変わったからと言ってそれで扱いにくくなるということはありません。

委員長 他はいかがでしょうか。

委員 日常生活の中で、例えば教育出版ですとエアメールなどがあると思うのですが、各者で日常的な使い方の違いなどはありますか。

調査員 各者とも、手紙ですとか時候の挨拶ですとか、そういう日常で使われる一般的なものについては等しく掲載されていますので、大きな差異はありません。ただ、教育出版に関してはエアメールなど特殊なものを掲載しているというのが大きな違いではないかなと思います。

委員 小学校の書写ですと、毛筆の経験を生かして硬筆を学習していくという流れが一般的ですけれども、中学校ではそういう毛筆と硬筆の関連やつながりはどうなっているのでしょうか

調査員 小学校と同じ流れになると思うのですが、毛筆で適切な書き順や正確な書き方を学んだうえで、日常的な手紙を書いたりといった単元を後に設けることで、毛筆で習ったことを硬筆で生かすという学習の進め方になります。

委員 課題解決型という言葉が何度か出てきたかと思うのですが、もう少し具体的に教えていただけますか。



調査員 生徒によって苦手とする字や形の捉え方が違いますので、まずは生徒自身がどんな苦手を持っているのかというのを掴み取るところから出発をします。そのうえで、正しい書き方というのが各出版社とも用意されていますので、生徒自身がそれと自分の字を見比べて修正しながら練習し、清書をし、最後は振り返ることで、丁寧に早く正確に書くという書写の目標を達成するようにするという学習形態になります。

委員 東京書籍さんは利き手によらず全ての生徒が使いやすいように書き込み欄が配置されているというような報告がされているのですが、他はそうではないということですか？

調査員 実際に出版社から出された資料で具体的に明記されていたのが東京書籍というだけでございまして、他の出版社が書きにくいのかというと、そういう作りにはなっておりません。

委員 書写の教科書の選定にあたって、国語の教科書との関連性については意識しなくてもいいのでしょうか。それとも、そういったことに関しても配慮した中での選定が必要なののでしょうか。

調査員 生徒の視点から見ますと、出版社が変わったからといってそれで困るというようなことは特別ないかと思います。

これまでお話ししてきたように、国語の教科書に載っているものを題材として扱っている場合でも、一般的にどの出版社にも載っている教材を扱っていますので、その点での生徒の困り感というものはないかと思っています。

委員 字を書くことが少なくなってきたり、書くこと自体の重要性を見出せてないということがあると思うのですが、実際字を書くことがこんな風に役に立っているんだということを思い起こさせるような工夫というのは、どうだったでしょうか。

調査員 各出版社全て共通して言えることではありますが、字の成り立ちといった歴史的な興味から文字に対する愛着を生み出すものがあり

ます。また、将来に向けてではあるのですが、実際に日常生活の中で字を書く機会が全くないかというところではなくて、何が求められるかといいますと、正しく早く整えて書くというところですので、書写の教科書はそこに重点が置かれて作られているということは、生徒にとって分かりやすい工夫なのかなと思います。

委員長 他にはよろしいでしょうか。それでは終了したいと思います。

#### 調査員退出 以後、審議

委員 それでは、皆様ご意見はいかがでしょう。

委員 国語との関連が気になったのですが、報告では出版社が違っても大丈夫とのことでしたが、報告書を見るとやはり出版社は国語との関連を意識しているのかなという気がします。東京書籍にしても三省堂にしても、そのような印象があります。出版社はやはり関連を意識しているのかなという気がしました。

委員 今現在は、国語と書写の出版社は一緒ですね。

委員 三省堂と教育出版は他の教科書と大きさが大体一緒になっています。書写に限った話ではないですが、教科書の大きさというのは一つの観点として持っていた方がよいと思います。

委員 中学校は3年間で1冊を使うのですね。小学校は学年ごとに1冊となっています。書き込めるところもたくさんありますね。

委員 他の教科書も同じように、判型が違う、大きさが違うというのは子どもにとって扱いやすいのかというところは、これから教科書を選んでいく際に関係してくるので、そういったところも気にしていく必要があると思います。

判型が大きいなりの工夫があればよいとは思いますが、ただ大きいだけでは扱いやすさという点で考えた時、どうかなという気はします。

教育出版の索引の漢字は、すごく字が小さい気がします。子どもによっては負担が大きいかなという感じはしました。三省堂は判が大きい割には字が小さいように感じました。

委員 質問になってくるのですが、光村図書は書写ブックが独立しているので家庭学習で活用できるという解説があったと思うのですが、分かれていることによるデメリットはあるものなのでしょうか。家に置きっぱなしでやらない、などはあるのでしょうか。

委員 おっしゃる通り、持ってこないと授業が成り立たないということはあると思います。一時期、教科書と資料編と分かれている教科書が主流を占めていることがあったのですが、分かれている物は少なくなってきました。

子どもが時間割で持ち物を揃えるときに、この教科は2冊、この教科は1冊というのがあると、分かりにくいだらうということで、一緒になってきているのかなというようには感じます。

光村図書はくっついているので、切って使うようにするのか、あるいはそのまま使うのか、その工夫によるのかなと思います。きれいにはがれるようになっているので。

委員 書写が主体となって他の教科と関連性付けていくのは、限界があるように感じていて、やはり書くことは基本的なものなので、他教科で書いてまとめたりする際に、書写の教科書にこう書いてあったよね、と関連付けられるように学習を進めた方がよいのかなと思います。

委員長 よろしいでしょうか。  
それでは書写については終了させていただきます。

委員長 それでは次に、地理と地図について報告をいただきたいと思えます。宜しくお願い致します。

委員長           それでは質疑等あればと思いますが、お願いします。

委員            言葉の捉え方なのですが、学習のまとまりの分け方が帝国書院だと「章」「節」、東京書籍だと「単元」というように言葉が異なるのですが、中学校地理を学習するうえで何か問題はあるのでしょうか。

それともう一つは、帝国書院の報告には2次元コードがついていてあるのですが、今後 GIGA スクール構想等もあり使う機会が増えてくると思うのですが、他の教科書にもそういったものはあるのでしょうか。

調査員          まず一つ目の質問なのですが、「章」「節」などの言葉で報告書に載っている出版社が複数あると思うのですが、初めの目次の捉えのところで使われている言葉になります。「単元」といった場合には、広く学習内容を捉える言い方になりますが、「章」「節」といった言葉は一部分を示す言葉になるかなと思います。続けて2次元コードについてなのですが、今はどの者もありまして、必ず自分で調べることができるよう掲載されています。

委員            付け足しなのですが、各者によってページの目次のタイトルの呼び方が違うことによって子どもたちは混乱しないでしょうか。

教科書が変わったときに、例えば去年まではナンバーだったのに今年から1章という呼び方になったときに、子どもへの学びの影響はどうか。

調査員          章といった言葉は教員が使うことが多いと思いますし、学習内容のかたまりを捉える言葉ですので、変わったとしても子どもたちの混乱は少ないかなと思います。

委員            それぞれの教科書を見ると部分部分にワークシートのようなものがあって、出版社によって板書のように学習を進めながら活用するもの、後ろに持ってきて振り返りで活用するものがあるのですが、そういったところの使い勝手や授業の扱いについてはどうですか

調査員          ワークシートは授業の中でそのまま使うことはあまりなくて、多くの先生が自分が用意したワークシートやノートを使っています。ワークシートを使うとしたら子どもたちが復習用に活用することが

ありますので、自分ですと最後にあるものを自分たちで取り組んでね、という使い方がほとんどになるのではないかと思います。

委員 先ほど、帝国書院と日本文教出版の説明の際に、帝国書院はグラフや写真が多いので、その中からピックアップして子どもたちが興味のあるところで授業を作りやすい、というような説明があったと思います。一方日本文教出版のほうは、教科書の中にある鍵というものを中心に授業を進めるというような説明だったのかなと捉えました。そうすると、やれることが片やたくさんあって、片や一方通行のように聞こえたのですけれども、そういう感じなのでしょうか。

調査員 そういうことではないです。帝国書院はグラフや写真が多い中で絶対に触れた方がよいものと軽く触れた方がよいものがあるって、絶対に触れた方がよいものは、どの者も同じようなものがあるかなと思います。

帝国書院は興味を持ちそうなもの、発展的なものがちょっと載っていて、それが入るだけで授業が楽しくなる場合や、そんなに触れなくても良い場合もあったりするといった形です。日本文教出版は鍵があるのですが、もちろんグラフや写真もあるので、自分の感覚の中では、それが帝国書院の方が多く、日本文教出版は考える鍵といった、捉えやすいものがはっきり必ずページに書いてあるというような捉え方です。

委員長 この後地図の方もお話いただかなければと思っているのですが、その前に教科書の最後の方に統計資料が各者あると思うのですが、地図帳との関係の中で教科書に載っている巻末の統計の特徴がもしあればお願いいたします。

調査員 各者の違いといったことでしょうか。

委員長 そうですね。この出版社のここに特徴がある、というものがあれば。

調査員 統計資料については比較的どの者も新しいものをできるだけ取り入れようとしていることを感じるので、大きな差は感じなかったかなと思います。

委員 統計資料については地図帳との関係もあると思うのですが、帝国書院だけは巻末に国や県のあらましの統計資料や用語解説がないので、地図帳も一緒に学習資料とするのであれば、ない分は地図帳を見ればよいかなと思うのですが。そのあたりは選考基準の一つの視点にした方がよいのでしょうか。

調査員 そうですね。そういうことでいえば、ずっと帝国書院の教科書と地図で秦野は来ているところで、やはり教科書で学習を進めるときに索引だとか統計資料を調べる際に、必ず地図帳を扱うところがあったので、帝国書院の教科書であれば、やはり地図とセットの方がよいのかなとは思いますが。

委員長 それでは地図帳についてお話聞かせていただいて、それから改めて教科書と地図帳との関連性についてお話できればと思っています。それでは、地図の方をお願いします。

【社会科 地図】 調査員の報告

委員長 いかがでしょうか。何か御質問があればと思います。

委員 今帝国書院の方で94か所の作業箇所があり、技能を身に付けさせるために有効だというお話でした。生徒にとっては使い勝手が良い、また先生にとって指導しやすいという印象を受けたのですが、見比べてみてそういう印象はありますか。

調査員 そうですね。ぱっと日本地図の一つの地方を見た時に、それがついている、ついてないは印象として違いますし、授業の時に技能的なものを身につけさせたいと考えた時に、指示がそこに書いてあるので、短時間の限られた授業時間において指導しやすいかなと思いました。

委員 東京書籍は公民的分野での活用の仕方があることもおっしゃってられて、どちらも捨てがたいような印象なのですから、教える側が活用しやすい方がよいと思っています。地図帳、すごい情報量ですよ。それをどう活用していくかが重要な気がします。

委員 地図と地理の教科書は同時に使うものでしょうか。

調査員 基本的には同時に使うことが多いです。

委員 そうなると、子どもたちは併せて持って行くのですよね。先ほどどちらかが大きいのでよいというお話もあったのですが、大きいイコール重いということでもあり、デメリットにもなるのかなと思いました。

若干東京書籍のほうが地理は軽くて、地図は重いという感じなのですよね。

調査員 そうですね。確かに少し重くて、はみ出してしまうようなところはあるかなとは思いますが。

委員 地図の方で、帝国書院は2次元コードがあるというお話だったのですが、入っている教科書、入っていない教科書を教えてもらえますか。2次元コードはどの教科書も入っているのでしょうか。

委員 両方全部ありになっていますね。

事務局 県の調査結果の45ページに記載がされております。

委員 ちなみに今は帝国書院ですか？

調査員 帝国書院です。

委員 ぱっと地図を見たときの子どもの見やすさというか、見慣れ感というのは、学習に影響するものでしょうか。

調査員 影響がすごく大きいとは感じませんが、指導する側としては、今まで帝国書院も東京書籍と同じく判型が小さいサイズでしたので、今回は大きいな、とは感じました。

委員長 よろしいでしょうか。それでは、ありがとうございました。

## 調査員退出 以後、審議

委員長        それではただ今の報告を受けまして、意見交換を行いたいと思います。意見がございましたら、よろしく願いいたします。

委員            地図に関して、秦野を探しますと、東京書籍は秦野「盆地」まで載っているのので、これを子どもが見たときに、秦野は盆地であることを感じるができるのかなと思いました。

委員            保護者としては、あまり違いがないようであれば、なるべく軽い教科書がいいなというのが正直な気持ちです。地図と地理の教科書がセットになった時には、東京書籍のほうが重くなります。帝国書院の場合は地理の巻末の資料に統計的なものがないので、教科書と地図帳をセットで活用するとのことでした。そういったことを考えると、帝国書院が良いのかなと思いました。

委員長        地図のサイズが大きくなるということで中を見ますと、文字サイズが優しいかなと思いました。確かに読みやすく感じました。

委員            SDG s というキーワードが出てくるじゃないですか。SDG s というのは様々な教科でやってこられると思うのですが、どのように授業で取り組んでいられるのでしょうか。

                  地理は取り組みやすいところなので力を付けやすいと思うのですが、もし力を入れてやるのであれば、SDG s と関連させた帝国書院がいいのかなと思いました。学ぶ中で振り返りも必要だと思いますので、巻頭にあるSDG s のゴールを見て、子どもたちが解決策を考えていく際に、振り返りがあるといいと思うのですが。

委員            SDG s を単独で学習、ということではないですね。様々な教科を通して、SDG s の視点を持って学習を進め、最終的にそれをまとめるのか、個人の中で意識して生活の中で取り組むのかということですので、SDG s をこうやります、というのは、おそらくないのではないかなと思います。なので、SDG s は視点の一つではありますがけれども、それをメインで採択を考えていくということではないのかな、と思います。



委員 先ほどお話ありました2次元コードについて、帝国書院はこまめに入っているのですけれども、他の教科書はどこにあるのかな、というように思いました。それこそ、今教科書と資料がというお話はありましたけれども、これからは2次元コードで資料を見るのではないのかなと思うのですけれども、という感想です。

委員長 他にいかがでしょうか。それでは地理と地図に関しては終了したいと思います。

【社会科 歴史的分野】 調査員の入室・報告

委員長 何かご質問等はございますか。

委員 歴史は自分が小さい頃はひたすら年代を覚えるという感じでした。今回教科書を見ると、帝国書院のタイムトラベルのように、実体験といますか、覚えるより考えるといったような、歴史に基づいて考えるというような工夫が面白いなと感じたのですが、他の教科書も似たような感じなのでしょうか

委員 出版社によって違うところもありますが、多くの出版社で生徒が考えるような資料が多く設定されています。また、生徒同士が話し合っただけで答えを導くような設問がある出版社もあります。大体どの出版社も同じように考えられていると思います。

委員 似たような形になっているということですね。

調査員 名前は違うところはありますけれども。

委員 あともう一点いいですか。世界の歴史と日本の歴史というのがそれぞれ教科書によって単元の進め方が違うと思うのですけれども、そういった点で特徴的なものがあったら教えていただきたいと思います。

委員 世界史だけに組み込んでいく時間と、日本史だけを組み込んでい

く時間があるのですが、日本史を学ぶときに世界史を知っていなければ関連性が分からない時があります。そういった際に、分かりやすいように教科書を分類して取り扱っている出版社があります。

例えば山川出版は、日本史を勉強するときはオレンジで、世界史を勉強するときは青で、というように示されている教科書になります。世界史を勉強しているのか日本史を勉強しているのかが分かりやすくなるように提案されています。

委員 日本である出来事が起きたときに、世界ではどのような出来事が起きていたか、というような関連が分かりやすく解説されている教科書はあるのでしょうか。

調査員 いくつかありますが、例えば山川出版ですと、世界を通観できるイラストというのがあります。日本文教出版は16ページに世界史から見た感覚と日本史から見た感覚、世界を体感できるというような表示がされています。育鵬社では、このころ世界は、というページがあります。具体的には38ページになります。日本の時代に応じて、世界の動きを捉えられるという形でしょうか。まだ他にもありますが、3つお話をさせていただきました。

委員 写真や資料がとても重要だと思うのですが、写真の大きさであったり使い勝手といった点から見て、各者特徴があったり違いがあれば教えていただきたいのですけれども。

調査員 各者、歴史を捉えさせる資料、世界から見る資料が今回の教科書では全体的に多くなっていると思います。資料の写真の提示が大きい出版社が3つあります。まず、一つ目は東京書籍です。各ページ、見開きで大きな写真を配置しています。もう一つは、帝国書院です。この出版社も授業の導入の部分の資料提示が大きいです。最後に学び舎です。こちらのA4判の大きい出版社ですけれども、この出版社は導入の部分の資料が大きいです。今紹介した3つの出版社は資料の導入の写真が大きいです。やはり文字だけでは分かりにくい部分がありますので、イメージを持たせるためには非常に役に立つと思います。

委員 例えば日本文教出版と帝国書院の二つの教科書には、ページの右

側に年表があつて、世界の学習をしているときに日本では何の時代が、と載っています。これは子どもにとって捉えやすいなと感じるのですが、2者だけということでもいいのでしょうか。

調査員　　今お話しいただいた年表の部分ですが、例えば他の出版社でいいますと、教育出版を開いていただくと各単元で一番上の導入のところに見開きで年表が載っております。外国との関係というところと少し違うかもしれませんが。帝国書院、日本文教出版、教育出版に年表が載っております。

委員長　　その他、いかがでしょうか

委員　　特にこれからは、教え込んでいくという授業ではなくお互い考えたり学び合ったりといった形になると思います。各教科書でそういった形で導入していくような、アクティブラーニングや学び合いの場面を想定する中で、どの教科書も工夫をされていると思うのですが、特徴があれば教えていただけますか。

調査員　　基本的には今お話しいただいたような、自分で考えてお互いに話しながら問題を解決していくというような設定は、どの出版社にもあると思います。

例えば東京書籍は、最初に学習課題、この時間に何を考えようという設定がされています。そして、最後のところでチェックとトライという部分があります。今まで1時間でやってきたものを話し合いながら解決していこうという設定されている部分があります。他の出版社も多くあると思います。

委員　　社会科だけではないですが、近ごろの教科書はとても充実していて資料が大変分かりやすく整理されているのですけれども、こういうような教科書の編成になることで、やはり資料集や副読本というのはあまり考えなくてもよいのでしょうか。歴史についてはどの教科書を扱うにしても副読本等は必要になるのでしょうか。

調査員　　私は、これからは資料集等はあまり必要でなくなると思います。なぜかと言いますと、タブレットの学習が入ってくる関係で、ネットにすべてつながっているわけですね。そうすると資料については生

徒がすぐに調べることができます。大体のものは教科書に載っていると思いますが、細かいものはネットで調べればすぐに出てきますので、それよりは、考えるものをいろいろ提示していった方が良いのではないかと思います。

委員            どのように学習を組み立てていくか、そして必要に応じて備えるということですね。昔のように副読本を手元に置いて同時進行で資料を調べていくというのは少し時代が変わってきているのかなという感じですね。

                  どの教科書も資料が充実しているというのでしたら、歴史を問わず、どの出版社も同じだという認識ですかね。

委員            歴史というのは暗記だけでなく、なぜそうなったのかという背景だとか、どうしてそうなったのかということを読んでいくという意味での歴史学習だと思うのですが、その中で、最初のところで、歴史学習の見方といいますか、東京書籍だけ現代とのつながりというのが書いてあるのですが、他の教科書でもそういった視点があるのかというのは、いかがでしょうか。

調査員          東京書籍の現代とのつながりですね。他の教科書に関してどこの部分に載っているかという点については、そこまで調べてきておりません。

調査員          歴史は国によって捉え方が違うと思うのですが、多様な、といいますか、私たちが習っている歴史はこういう歴史ですが、違う視点での捉え方もあるよ、といったような多様性といった視点が入っている教科書はありますか。それとも大体は日本の教科書だから日本の考え方に則ってという感じでしょうか。

調査員          多面的、多角的に捉えるという形になると思うのですが、それぞれの違う立場で考えていく、という部分がこれから大事になってくると思います。日本からの立場、外国から見たときの立場、それぞれに違う部分から見た考え方が載っているものもあります。

委員            具体的には、どの出版社などありますか。

調査員 具体的には、東京書籍にいろんな考え方ができるようにしようということで、60ページにありますクラゲチャートですとか、96ページには、いろいろな見方ができるように考えてみようということでエックスチャートというものが載っております。

委員 他の出版社にはないものでしょうか。

調査員 そうですね、この東京書籍だけがこの考え方を載せておりますね。

委員長 他にはよろしいでしょうか。それではありがとうございます。

#### 調査員退出 以後、審議

委員長 それでは検討委員の皆様のご意見はございますか。

委員 東京書籍と教育出版は、資料の色合いが目に優しいなという印象を受けました。どの出版社も、自分が勉強したくなるような内容でいいなと感じました。

委員 どの教科書を見ても、私が中学生の時に見たものより分かりやすくなっているなという印象を受けました。

委員 昔に比べると写真などの雰囲気がよくて、資料集がなくても教科書で対応できるような内容になってきているように感じます。

委員 東京書籍には、教科書の下に何時代の内容を学んでいるのかということと、課題が各単元に書かれていて、興味を常に持ちながら学習できるのかなと思いますし、一つの立場ではなく複数の立場から考えることができるようにするという点が、本来の歴史の学び方なのかなという印象を受けました。

一方で学び舎は2次元コードはないのですけれども、近現代に力をいれているように感じました。自分たちのおじいちゃん的生活の様子などから前に遡って考えられていて、遠い昔のことは、ぼーとしちゃうのですけれども、自分たちに近いところのものがし

っかりと書かれているので、おもしろいなと思いました。自分も逆から歴史を学びたかったと思っていたのですが、それに近いかなと思いました。

委員            どれも2次元コードがあつて、学び舎はないのですけれども、帝国書院は章ごとに2次元コードを入れているなと思いました。

委員長          それではよろしいでしょうか。それではこれで歴史のほうは終わりにして、公民のほうに入りたいと思います。

【社会科 公民的分野】      調査員の入室・報告

委員            今、地理・歴史・公民とご説明いただいていたのですけれども、それぞれの出版社によって、最初に課題があつたり最後にチェックリストがあつたりと、同じ出版社ごとに全部同じ形になっているのですね。実際に授業を行う上で、公民は3年生だと思うのですけれども、1・2年生で歴史や地理の学習を進めていく中で、優先順位としてなるべく同じような編成で、課題は公民はここにある、地理もここにある、最後にここを見ると振り返りができる、という形のほうがいいのか、それとも分野ごとの内容を教科書でやっていけばそんなに大きな問題はないのか、イメージとしてはどうですか

調査員          経験の中での話ですが、地理と歴史につきましては、できれば同じ形がいいかなと思うのですけれども、公民は地理、歴史とは内容も少し変わりますので、若干違ってもさほど問題はないのかなと私の中では感じます。

委員            関連なのですけれども、社会として大きな括りとした場合、教科書を全部見た感想で、出版社は地理・歴史・公民の関連を意識して作られているかどうか、先生目から見てそういった点をお聞かせ願えればと思うのですけれども。

調査員          そうですね、意識して作られるのが分かる部分があると思います。

委員 公民は最新の事柄が散りばめられているなど思ったのですけれども、教育出版に、もしも裁判員裁判に参加したら、というのがあって、少なからず数年後には子どもたちも意識せざるを得ないものなどもあったのですけれども、最新の事柄の充実度というところだと、各者違いはあるのでしょうか。

調査員 教科書はその内容については最新のものが載っているかということではないところもあります。といいますのも、改訂されたばかりのころは別ですが、時間の経過につれて少し前の資料が載っていたりするので、その補充として資料集を使っている学校が多いのではないかなと思います。ですので、そういったところでうまく調整していけば大丈夫かなと思います。

委員 よく中学校でグラウンドの部活の割り振りをするとか、より身近な問題として子どもたちが考えやすい課題が使われることが多いなと思っているのですけれども、各者そういったところは力を入れているのかなと思っています。子どもたちが自分事として捉えることができるような資料が提供されているのはこの出版社が多いですとか、この出版社に特徴があるというのがもしありましたら、教えていただければと思うのですけれども。

調査員 各者見ると、子どもたちの身近なことにつながる、さらにグループ活動やクラスでの活動につながっていったりする内容は、よく研究されて散りばめられているなと思いましたので、特に突出した出版社はないと思われます。

委員 歴史・地理と公民の大きな違いというのは、歴史・地理というのは事実に基づいてそれを深く学ぶというスタンスでの教科書の編成だと思うのですけれども、公民は様々な課題に対していろいろな見方考え方、立場の違いを話し合いながら、どうお互いに豊かに生きていくかという姿勢を、学びを通じて体得していくような編成だと思います。各者そういったことについては配慮された中でのページ構成、内容になっていると思いますが、そういったことに関連して先生のコメントはありますか。

調査員 研究を進めていく中で、秦野で今採用されているのは東京書籍な

のですが、やはり東京書籍を見ると、今使っている教科書と流れが同じですから一番使いやすいなと思っていました。

ですが、他の出版社を見てもよく研究されていて、そんなに大きな差がないように感じています。細かいところではそれぞれ良さがあるのですけれども、教育出版にしても帝国書院にしても、よく他者の情報も世の中のことも捉えながら教科書を作っていると思います。

委員長        その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、これで報告のほうを終わりにしたいと思います。

#### 調査員退出 以後、審議

委員長        皆様からご意見等があればと思いますがいかがでしょうか

委員            先ほどから2次元コードの資料について話題になっていたのが公民についてどんな資料があるのか見てみたのですが、現状はリンク集や教科書にある画像が載っているだけで、もう少し工夫が必要かなというように思いました。2次元コードがあるかないかという観点であまり判断をしない方がいいのかな、と思います。これから充実させていくとは思いますが、観点としてはどうなのかな、と思います。

委員            先ほど質問させていただいたのですが、より自分たちの身近なものとして捉えられるかどうかという点については、公民に興味を持ってもらえるか、という大きなところだと思うのですよね。自分たちの生活に照らし合わせて考えられるような工夫があると、いいのかなと思っています。

委員長        他にいかがでしょうか。では公民のほうは終了したいと思います。

#### 【数学】 調査員の入室・報告

委員            数学は前の学年での内容が分からないと次の学年の内容が分から



ない、小学校の算数が分からないと中学校の数学が分からないようにできていると思うのですが、例えば大日本図書は今やるところが分からなければ戻って確認すべきところが目次に書いてあって一つの工夫だと思います。どの教科書にも子どもにとって分かりやすいように提示されているものですか。

調査員 教科書によって、ページの右端に何ページ戻るですとか、何年生のここに戻るなどリンク先が書いてあり、おもしろいなと思いました。立方体の体積を求めるときに小学校で習った展開図が張り付けてあったりして、復習になります。

先生方も教科書を元に話をすると思うのですが、導入のところで今学習している内容に関する既習内容を復習してやっていくように意識をしています。

特に、苦手なお子さんが学習を積み重ねたときに基礎ができていないと崩れるので、丁寧に扱うという点はどの教科書を使っても意識的にされるのではないかと思います。

子どもたちが自学自習で取り組む際に何ページを見るというように教科書を見て活用することはできますし、教科書を見て取り組むということであれば、ページのリンク先ですとか、小学校の学びのページがあったりマップがあったりするの、これを授業の導入のところで使って、次の学年ではこうだねというスタートが導入の仕方としては多いと思います。

委員 保護者から見た場合でも、どこに戻ればよいかというのが教科書を見ればわかるようなイメージでしょうか。

調査員 そうですね。マップがあるので、そちらを見ていただいて、それから現在の学習に戻るといいうようにして、例えば1年生の時に立体を学んだら、今度は中学1年生の平面図形や立体のほうにリンクしているということがマップで分かります。

そのように各者特徴はあるのですが、マップになっていたりリンクになっていたり、各者既習内容とのつながりというところを意識して作成されていることを感じました。

委員 大日本図書の各章の最初の写真なのですが、日常生活の例のようなものが提示されていて、身近なものから各単元に入っていくのか

など思ったのですが、他者はいかがでしょうか。

調査員 写真を用いて自分たちの問題として捉えていくという編成をするところもあれば、自分たちの実験をもとにして取り組んでみようというものがあつたりですとか、各者様々なアプローチをします。

子どもによっては、その出版社のアプローチが難しすぎるかなという入り方をするものもあれば、実生活の写真を用いて自分たちの問題として捉えられるものもあります。ただそれをうまく使いながら、私たち教員が子どもたちにうまく伝えられるようにかみ砕いて説明をしたりですとか、実体験として感じられるように教材の良さをうまく引き出すというところが必要になるかなと思います。

委員 先ほど小学校の算数と中学校の数学のつながりというお話があつたかと思うのですが、学校図書はさらなる数学へ、高校の架け橋へというものが紹介されていて、先生はご覧になって、中学校から高校へという視点で高校の数学を意識して作られている、工夫されているという教科書があれば、教えていただきたいのですけれども。

調査員 東京書籍では高校の学習内容を課題とした数学の窓という項目があるのですが、そちらで取り扱っています。そんなに多くではないのですが、ルートの2が無理数になることを本当は高校で証明するのですが、それを発展的に章末、巻末のところで取り入れていたりします。

大日本図書は、高校ではどんな数学を学ぶのかなという項目があります。

学校図書は先ほどおっしゃっていた通りです。

教育出版では高校の学習内容を紹介した広がる数学のコーナーがあり、そちらに載っています。コラム的な扱いで載っているようになっています。

それから、学びを生かそうというところで高校の内容を発展的に載せているのが啓林館です。

数研出版は先ほどお話ししたルート2の無理数というものを巻末に載せています。

日本文教出版については、数学の探検という課題学習が巻末にあるのですが、発展的な学習の中に高校の考え方を取り入れたりしています。

各者とも多くはないですけれども、コラム的な感じを取り扱っているという感じです。

委員 小学校の教科書にも定着を図るということで練習問題があります。早く解けるような子は、巻末にさらに取り組めるような問題があるので、そちらに取り組みます。

中学校も基本的に同じ作りなのですが、数研出版のように別冊になっているなど様々な載せ方がされているのですが、中学校で学習を進めていくうえでいかがでしょうか。

調査員 例題がたくさん載っているので、子どもたちは解けたらさらに次の例題を解きたいなというように、自主的に例題を探すと思います。

基本的な内容が多く載っているものであれば、苦手な子はそういったところで学習できます。啓林館では発展的な学びというようにして、かなりレベルの高い問題も載っていますので、それぞれのお子さんに対応できるという作りになっています。

私たちが授業で見て回って、ちょっと苦手でつまづいてるお子さんには基本のページをやってみようですか、早く終わって持て余している子には巻末の発展問題をやってごらんというように声をかけられるように教科書の中に題材が設定されているので、それはありがたい教材だと思います。

個によって対応ができるということで、例題が多く載っているのは私たちにとってはありがたい教科書が多くあります。

委員 どの者もそういった点についてはできているということですか。

調査員 先ほどお伝えしたとおり特徴については各者あるのですが、基本事項、章末の発展問題、さらに入試に対応する問題、さらに学びをつなげよう、高校につなげようというような教材が提示されています。幅広い課題の中で子どもたちが学べるようになっています。

委員 小学校から中学校に入った時に、算数から数学へ変わり、子どもたちの中にも頑張ろうという気持ちと、難しくなることへの不安とが入り混じっているような感じがするのですね。

最初の学習はプラスマイナスの計算で入っているところと、素因数分解で自然数や素因数が出てくる教科書が半分ずつくらいだと思っ

たのですね。そういった編成が、中学1年生の子どもたちにとってどうなのでしょうか。

私は少しプラスとマイナス学習の中で、あ、マイナスっていうものがあるんだ、というところから入った方が、自然なような気がしていて、2乗3乗というようになってしまうと、ちょっと引いてしまう子どもがいるのかなという感じがするのですが、実際の指導の場面ではどうでしょうか。

調査員 素数が1年生に入ってきたのは昨年で、3年生の付録教材から移ってきたものです。

おっしゃっていたように今までの学びの流れと違うので違和感があると思うのですが、素数から扱っている時にも割り算をして余りが出るものや割り切れるもの、約数が2個あるものなど、小学校の学びで説明すると、子どもたちは素数については「ああ、そういう特徴がある数なんだな」と数学の楽しさに入れます。

初めて数学に触れるのではないかと思うのですが、そういった際に説明するときに面白さを感じます。あとは、通常の正の数、負の数の場合についても、トランプゲームなど行いながら学習に入っていくのですが、活動的なものから入れるので、私はどちらでも取り組みやすいかなと思います。

委員 教育出版は帯のところに数学的な考え方ですとかヒントになるようなものが載っていて、学習を進めながらそのヒントを参考にしてポイントが分かるし、親も気を付けて見てあげた方が良い場所が分かり一緒に勉強に取り組めるかと思うのですが、似たような作りのものは他にもありますか。

調査員 他にもあります。日本文教出版もページの右側にリンク先が乗っています。あとは東京書籍も補充の問題としてページにリンクしている内容のページ数が右端に書いてあります。リンクを意識している教科書は色々ありますが、ご指摘のように教育出版が一番特徴があります。

委員 学校図書と東京書籍、教育出版の巻末に切り取って使える付録があるのですが、これはあると助かるものなのでしょうか。

調査員       よく使うものとしては、正多面体の切り取って使う付録があります。子どもたちが展開図から作ると本当に手間なのですが、楽しく切り取って作る教材は面白いですし、子どもたちも楽しいなって感じながらできるかなと思います。時間的な限界があるので、自作ができるものや円周角が動いたりするものがあると、子どもたちは楽しく取り組むことはできます。

委員長       よろしいでしょうか。それでは、ありがとうございました。

#### 調査員退出 以後、審議

委員長       それでは皆様のご意見を伺いたいと思います。

委員       教育出版のように学習内容の関連性が明示されているのは、親としては、子どもがつまずいたときにどこに戻ればよいかわかるので教えやすいなと思います。

委員       数学的な観点ということで、どういうことを学ぼうとしているのかという点についてもポイントとして抑えられていました。学習内容のつながりが示されている教科書は他にもあると思うのですが、やりながら常に確認できるという意味では、なかなかいいなと思いました。

委員長       その他ご意見いかがでしょうか。それは、よろしいでしょうか。

#### 【理科】 調査員の入室・報告

委員長       ありがとうございました。それではご質問等あればお願いしたいなと思いますけれども、いかがでしょうか。

委員       東京書籍は幅が絶妙で、めくりやすいといいですか、ぱらぱらと次に進むことができるというのが見ていて良いなと思いました。実際

に子どもたちから見たときに、めくりやすさというのは関係してくるのでしょうか。

調査員 子どもたちは教科書を手で持っていることは少ないです。小学校の国語は読むときは手で持ったりということが多いかと思うのですが、理科ですと開いて置いておく、そしてノートをとったりプリントをやったり、グループで話し合ったりと開きっぱなしにしていることが多いですので、めくりやすさということはあまり大きなポイントにはならないのではないかと思います。

委員 では逆に、ぱっと開いたときに広がってくれているほうがよいのですかね。幅が狭いと戻ってきてしまったりするので。

調査員 強いて言うならそういう違いになってきてしまうかと思うのですが、東京書籍の教科書をパッと見たときに、幅が狭いのは斬新さを感じました。先ほど実験のページの次に結果が載るように各者工夫しているという報告をしましたがけれども、幅が狭いことによって無駄がない作りになっていると思います。幅が広いところだと、やはりスカスカのように感じてしまうようなページがあったりするので、教科書の大きさとしては一長一短かなと思います。

委員 後ろの問題の中身についてですが、難易度についてはどのように思われましたか。

調査員 例えば大日本図書や啓林館は問題構成を4つに分けていて、細かく分けている分、ある程度難しい問題も入っています。細かく分けていない教科書については、どちらかというとも基本の内容となっているような編成になっています。難しめの問題まで含まれているのは、大日本図書、教育出版、啓林館という印象です。

委員長 その他いかがでしょうか。

委員 小学校から中学校のつながりということで、ふりかえるような視点が示されているような教科書、ゆるやかにつながるような接続面ですとか、他教科とのつながりということで関連付けを意識したような教科書といった視点から、何か特徴はございましたでしょうか。

調査員 小学校からのつながりについては、字の大きさですとかキャラクターを使ったりですとかは、各者取り入れていて、昔の教科書と比べると変わってきた部分かなと感じています。他教科とのつながりというのは、あまり大きな変化はないと思います。

理科ですと、技術分野と内容が関連することがあります。例えば電気の内容だったり植物の内容だったり、家庭科の食物とどっちが早いどっちが後という点は変わっていませんので、理科のほうで工夫をしているということは感じられなかったです。

つながりという点では、高校とのつながりという点が気にはなっているのですが、よく卒業生から高校から理科がいきなり難しくなると聞くことが多いので、そうすると1年生と小学校とのつながりがゆるやかになってきていると思うんですが、その中で3年生の教科書や学習の内容が高校とどれだけ緩やかになっているのかというのは勉強不足で、調べたことがないので分かりませんが気になっています。

委員長 他はいかがでしょうか。

委員 理科で子どもたちが苦手としている分野、化学変化や化学反応式、電気、このあたりの解説が各者そんなに差がないかなと思うのですが、啓林館はその中では解説が分かりやすいかなという印象を持ちました。先生方が説明しやすい、子どもたちが理解しやすいものといった視点で、全体見ての感想を教えてくださいたいと思います。

調査員 教科書に書かれている実験は、先ほどの探究の流れに沿った内容で作られているのですが、それを授業が終わった後に自分でもう一度学習し直そうと思った時に、そこには教師はいないわけですよ。そうしたときに、教科書とノートから情報がどれだけたくさんあるかと考えると、紙面を広げていただければわかると思うのですが、御指摘の通り大日本図書・啓林館は字が多く感じます。ですがその分、情報量は多いと思います。

ぱっとみて授業の中の使い勝手だけ考えると、字が多いと逆に実験のポイントなどがぼけてしまうことがあると思うのですが、あとで自分で勉強しなおすということであれば、情報の量ですとか説明の丁寧さということになると、やはりその文字として情報の多い教科書は少ない教科書よりは丁寧だと思います。

委員長        その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、ありがとうございました。

**調査員退出 以後、審議**

委員長        それでは皆様のご意見を伺いたいと思います。

委員            東京書籍は単元の終わりに科学の本棚という本の紹介があつて、子どもが興味を持った時に、こんな本があるのだなと、自分の興味をどんどん探究できるようになっているのが良いと思いました。2次元コードのコンテンツも、水にものが溶けていく際、分子が広がって溶けていくような様子などがシミュレーションできているものがあつて、やはり化学は違うなと思いました。

委員            東京書籍の2年生の天気についてですけど、こちらのペーパークラフトは国立科学博物館で作っているものなんですけど、こういうものがついているというのは、インパクトが強かったです。

委員            国立科学博物館と書いてありますね。

委員            きれいですよね。科学とか理科が嫌っていう子がいきなりこういったものを見せられると、ちょっと引いちゃうところも無きにしても非ずなんですけど、この東京書籍のものは教科書じゃないように感じられて苦手な子にも配慮しているのかなと思いました。

委員            今回は2次元コードの内容については審査から外しましたとのことでしたが、私の家にDVD付の図鑑があるんですけど、子どもたちは図鑑よりDVDを見るんですよ。なので、まだ発展途上だとは思いますが、やはりしっかりと活用して充実しているところを選ばれた方が、子どもたちの自主学習につながるのかなと思います。

委員長        東京書籍についての意見が多かったかなと思うのですが、他者についてはいかがでしょうか。



委員 先ほど、情報量が多いという話題がありました。教育出版を見ますと、資料の鮮やかさですとかは魅力だなと思いました。それと、小学校は啓林館を使っているの、そういった点のつながりはどうなのかな、と思っています。

委員長 他にはよろしいでしょうか。それでは、理科については終了にしたいと思います。

【音楽 一般】 調査員の入室・報告

委員 端的に言うと、違いはどのようなところにありますか。

調査員 大きな違いはありません。それぞれの表現活動や鑑賞教材、創作についても、学年を追うごとに段階を経てレベルを上げていくような形になっています。教育出版はページ数が10ページほど少ないので、若干教材の量が少ないのかなと思いますけど、どこに重きを置いている、集中しているということでもありませんでした。

委員 様々な曲が載っていると思うのですが、子どもたちは新しい曲に興味を惹かれる部分があると思います。昔から掲載されている子どもたちに知っていてほしい曲に加えて、取り組みやすい今時の新しい曲というのが入っていると良いと思うのですが、そういった点はいかがでしょう。

調査員 どちらも入っております。歌い継ごう日本の曲のような曲も入っていますし、J-POPが編曲されたような曲も両者に入ってきています。どこかで聞いたような曲は必ず入ってきていますので、生徒は取り組みやすいかと思われま。

委員 教育出版の報告の際に言語活動について触れられていたのですが、逆に教育芸術社のほうにもあるのでしょうか。違いというものがあれば教えていただければと思うのですが。

調査員 教育出版のほうは、まとめて書くようなスペースがあります。教育

芸術社は創作のページ、マイメロディのところになるかと思いますが、音のつながりを工夫した点ということで、言語で工夫した点を表現するというのが工夫しているところだと思われそうです。

委員長 他はいかがでしょうか。

委員 J-POPなどは昔は音楽の教科書になかったような感じがしています。いわゆるクラシックなどが多かったのですが、今の子どもたちは興味をもって取り組むのではないかなと思います。

調査員 生涯音楽を愛好していく、という点が入ってきていますので、教科書だけ、学校の教育だけということではなく、どんな時も歌えるものと、日本に古来からあるものは歌い継いでほしいというような思いが込められているのかなという風に思います。

委員 子どもたちにどんな曲を歌わせたいのかですとか、曲を鑑賞させたいのかということが大切で、先ほどのお話だと差異はないということでした。楽器については、紹介されている楽器に若干違いはあるのですが、本市では対応できないなというようなものですとか、そういった点で支障はありますか。

調査員 和楽器を3年間のうちに取り入れて、ということがあります。なかなか和楽器を子どもたち全員が取り入れてというのは難しいところがありますが、秦野市のほうは市で琴を所有していただいていますので、それをお借りして全員に指導することができます。そういう面では教育課程を進めていくうえで対応はできています。欲を言うと、三味線ですとか篠笛ですとか太鼓ですとかもあった方が、より充実した教育を選ぶことはできます。

委員 大きな支障はないということですね？

調査員 はい。

委員長 器楽のほうについてもお話しいただいてよろしいでしょうか。

調査員 分かりました。それでは器楽について報告をいたします。

委員長            それでは、器楽を中心にしてご質問等ございますか

委員                現在、現実には音楽活動が制限されていて大変な部分があり、教科書が来年変わって注意をしなければいけないこともあるかと思うのですけれども、今後中学校で音楽指導をするうえで、目指すものといえますか、そういった点について先生のお考えを伺えたら参考になるなと思うのですけれども。

調査員            今現在、歌うこと、リコーダーを吹くことは残念ながらできないので、年間計画を修正して、まず鑑賞から行っています。

ただ、鑑賞だけでは授業は進んでいきませんので、表現活動でも、例えばリズム合奏というのは楽器がなくても十分手拍子だけでできます。器楽の教科書にも、必ずリズム合奏の曲が2つほど載っていて、優しいものと簡単なものというのがあります。

また教育出版の教科書にはリズム創作というのがあります。手を打ちながら自分でメロディーを考えるとという部分があるので、そういった創作もできます。

その内容は、友達と協働しながら考えるということが教科書には趣旨として出ており、現在のところはそこまでいっていないのですが、個人でやって全体で合わせたり、考えを共有したりというのは十分できると思うので、そういった面では音楽活動の目的は十分達成しているのかなと私は考えています。

委員                個人で取り組む器楽のメインにリコーダーがあると思うのですが、指導の仕方について両者違いはあるのか、曲が違ってても音楽的に指導する内容はどちらも同じように網羅されているのか、教えてください。

調査員            大体同じように網羅はされています。簡単に、ドレミファソまでの左手だけで一区切り、それから右手を入れたもの、それからサミング、というように段階的にできています。また、吹き方、タンギングやレガート奏法というの、両者とも段階を追って記載がされていますので、同じように網羅できるかと思えます。

委員長       では、よろしいでしょうか。音楽と器楽につきましては、終了したいと思います。

#### 調査員退出 以後、審議

委員       教科書が変わって、鑑賞CD等は新しく変わったりするものなの  
でしょうか。ついてくるものなのでしょうか。

委員長       再度調査員に入室してもらうことは可能でしょうか。

事務局       再入室は可能です。

委員長       では、再度入室をお願いします。

#### 調査員の入室・報告

委員       教科書が変わって、鑑賞でCD等を使うかと思うのですが、それは  
教科書についているものなのでしょうか。

調査員       ついております。CDはセットになっております。今まではセット  
になっていました。

委員       今回は分からないということでしょうか。

調査員       今回は分かりませんが、おそらくなっているかとは思いますが。基本  
は指導用CDと範唱用テープまたは合唱練習用CDと全部一セット  
になって出来ております。

委員       鑑賞は、ボリューム的にはどちらも差がないということですね

調査員       はい。ないですね。

委員            せっかく来ていただいたので、もう一つだけ質問させてください。音楽と器楽の教科書があるのですが、これはセットという認識でしょうか。それとも片方ずつ別の出版社でということもあるのでしょうか。

調査員          規則的には同じでなければならないということはないと思うのですが、例えば教科書で載っている曲が器楽でそのまま使われているということがありますので、やはり同じほうが指導はしやすいかなと考えます。

委員            ありがとうございます。それでは音楽はこれで終了したいと思います。

## 【美術】          調査員の入室・報告

委員長          ありがとうございます。それでは何かご質問のある委員の方はお願いいたします。

委員            各者とも2冊構成だと思うのですが、開隆堂と光村図書は1年と2・3年となっていて、日本文教出版は特に変わっていて1年と2・3年の上と2・3年の下ということで、そういった構成の違いで先生方や子どもたちが混乱したりするようなことはあつたりするのでしょうか。日本文教出版についてなのですけども。

調査員          2年間上下を持っていて、2・3年生は活動しています。  
日本文教出版の表紙にある学びの深まりという言葉、2年生で扱うところが中心のものと、3年生で扱った方がよいところ、具体的に言いますと、自分を取り巻く身近な社会から広い将来を見据えた世界的な視野の広がりというような、発達の段階を意識して3冊にしているように見えます。

2冊の場合については指導者がその内容を授業で展開していくということで、指導要領にもありますけれども、2年間を通してこれだけの内容を学ぶということになっていきますので、指導者の対応が必要になってくるのではないかなと考えています。

生徒はそれほど困ってはいないのですが、2冊バラバラしているよりは、1冊のほうが使いやすい、持ちやすい、携帯しやすいということについては、そういう生徒もいると思います。

委員長 他いかがでしょうか

委員 それぞれの出版社に特色、良さがあって、総合的に差異はないといったような報告だったと思ったのですが、その中で、生徒が好む題材ですとか、使いやすい題材、もう一つは教材費などの費用負担が大きいなどもあると思うのですね。

できるだけ子どもたちが好む題材で、使いやすく、教材の負担が少ないと考えたときに、それぞれの出版社の題材、内容構成はいかがでしょうか。

調査員 実際に材料費等については、セット教材といいますか、カタログから買おうとしますと値段は高いです。必要なものだけ集めたり、共有したりできるもの、通常は授業で使うものとして持ってきてもらうものと、美術室で用意するもの、と進めていきますと、それほど大きな負担がかかるものではないと思います。

材料によっては生徒自身が探し出してこないと手に入らないものも資料として載っています。それぞれの学校が、題材の考え方をもとにして自分たちの環境の中でできるものを組み立てていくようにしないと、材料費はどんどん嵩んでしまいますので、秦野であれば秦野で手に入りやすい材料、山沿いの学校では木材ですとか、そういったものを集めてくることで、かなり軽減できるのではないかなと思います。

絵を描くということが目的ではなく、絵を通してどのような考え方を身に付けるかということですから、教材についてはあまり専門的なものばかりですとか、ワンセット2～3千円のポスターカラーセットを必ず全員が持ってなければいけないという考え方を変えていけば、各者そんなに違いが出てこないと思います。

委員長 よろしいでしょうか。それではありがとうございました。

## 調査員退出 以後、審議

委員長 皆さんのご意見をいただければと思うのですが、いかがでしたでしょうか。

委員 日本文教出版の各章で、美術が縁遠いものではなくて、身の回りにあるものが美術だったりする、という視点がすごくきれいに出ているような印象を受けました。子どもも「そうなんだ」と考えやすいのではないかなというのが、教科書を見たときの印象です。

委員 どの教科書も原寸大に近いものをずいぶん載せているのですね。これはすごく大きなことで、子どもたちが見るときに細かい部分まで見えるかどうか。今までの図版は全体が見えて、「こういう作品なんだね」という印象は残るのですが、「ここ、このようになっていたのか」と気付かせるところを各者工夫しているなと思います。

それと、先ほど言われていたのですが、美術は単に作品を作ることや鑑賞するだけではなくて、それを受けて自分はこれからの生活の中で、例えば生活環境の中でカーテンはどうしたほうがいいのか、といったことも含めて、様々なことを学べる、そういった視点を身に付けてこれからの生活に生かせる、生活を豊かにしていけるというのが大きな目標なので、そういった意味で各者、日本文教出版は特になのですが、身近なものを取り上げたりしているのは工夫されているなと思いました。

大きさがどうなのかというのは難しいところで、大きければ大きいほど図版としては見やすいのですけれども、そうすると光村図書だけサイズが違うという差異はあるのかなと。また、日本文教出版は3冊になっているので、当然大きな図版をその分だけたくさん掲載することができるという差は出てくるのかなと思います。

委員 小学校で今使っている開隆堂を見せていただいたのですが、小学校の教科書と似たような感じになっていました。

やはり作品を作るというよりは、それを通してどんな見方を学んでいくか、というようなことが大切だと思うのですが、中学校では名前も図工ではなく美術というように変わってくるので、そういったところはつながった方がいいのか、あえて分けた方がいいのか、という

個人的な意見をもっているのですね。

逆に言うと、小学校の延長で図工的な感覚ではなくて、中学校になったら美術というように少し変わるよ、としたほうが教科書で切り替わるのかな、という見方もできるかと思いました。

委員           それぞれきれいにレイアウトがされていて、選び難いというところはありますよね。

委員           2次元コードですと、動画が見ることができるので、このようにやっているのだなというようにどの者も引き込まれてしまうところもありますよね。

委員           先ほど2万点ほど作品を見ることができるとおっしゃっていましたが、それでも、それもすごいなあと思いました。子どもが子どもの作品を見ることができるといのは中々ないですし、受ける影響も大きいのかなと思いますけれども。

委員長          よろしいでしょうか。それはこれで美術を終了にしたいと思いません。

【家庭科】      調査員の入室・報告

委員長          それでは委員の皆さん、ご質問等はいかがでしょう。

委員           開隆堂はすべて「持続可能な〇〇」ということで、どのように自分たちの習っていることと持続可能な社会というのをつなげていけばよいか、というのがあるのですが、他の出版社もそういった内容については散りばめられているようなイメージですか。

調査員          はい、持続可能な社会に対応するような作りになっております。

委員           先ほど説明の中で、教育図書の中で、調理実習の新しい内容である「蒸す」があったということだったのですが、他の教科書にもあるかということと、調理実習のレイアウトが縦と横のものがあるのです



が、横だと2ページ見開きなので若干余裕がありますけれど、縦だとかなり窮屈に入っているのですが、そういったところは子どもたちが見て学ぶ際に支障はありますか？

調査員 一点目の「蒸す」についてですが、教育図書の方にはシュウマイや蒸し野菜等の記載がありましたが、他の教科書では見るできませんでした。

子どもたちが見やすいレイアウトに関しては、横でゆとりをもって見れた方が子どもたちは調理実習で開いたときに、作業しやすいように私は見受けられました。

委員 付け足しなのですが、中学校でも調理実習をする際、小学校もですけど、黒板は横長なので、同じように横長に手順を書かれることが多いのでしょうか。

調査員 そうですね。

委員 技術・家庭として見たときに、先ほども音楽と器楽は同じ教科書が良いかと質問させていただいたのですが、分野は違うと思うのですが、技術の教科書と関連するようなそういった内容というのは、先生はあるとお考えでしょうか。

調査員 調理器具など電気についての内容が、技術のほうを参考にする点がありますけれども、いつもリンクして参考にしているという感じではないです。

委員 同じ出版社でなくても問題はないということでしょうか。

調査員 はい。内容が同じであれば、出版社が違っても特に問題はないです。

委員 調理実習のメニューが各者載っているかと思うのですが、扱いやすいですか、価格的に買いやすいというものの差はありますか。

調査員 そうですね。扱いやすいですか、値段などよりも、実習の時間については、今1時間でやらなければいけないので、基本1時間でできるメニューを私たちは工夫して取り上げています。ですので、載って

いるものを少しアレンジして付け合わせを変えてみたりといった形です。

委員 教科書による違いは、あまり感じないということですか。

調査員 そうですね。すべて実習はできないので、できるものをピックアップしています。

委員 先ほど報告にあった開隆堂のQ&Aについて、なぜこれをするんだ、というところが、なかなか教えてもらう機会がなかったなと思っていて、すごい参考になるなと思いましたし、一方で東京書籍も付け合わせの料理が記載されていて、学校ではできなかったけど家で作ってみようというような広がりがあるのかなと思いました。

調査員 そうですね。応用につながると思います。

#### 調査員退出 以後、審議

委員 私はQ&Aの、なぜたまねぎを炒めるのかというのは、改めて考えると確かに疑問に思いましたので、子どもたちにとっては良いのではないかと思いました。

委員 調理の仕方の縦書き、横書きについても、調査員の方は横のほうがということだったのですが、机に載っていると邪魔になるような気もしています。

もしかしたらどこかにおいておくのですかね。それを見に行って、調理を進めて、また見に行くという感じになるのですかね。

委員 調理台はそんなに広くないので、たぶん片付けてしまって、黒板のほうを見るのではないかと思うのですが。

委員 家庭科は事前に教科書を見て手順を確認・学習をして、実習の時はテーブル上はすべて仕舞います。代わりに黒板に教科書と同じような流れが書いてあって、今まで学んだことと合わせて実習を進めて

いくという形なので、同じように横書きのほうが小学校では使いやす  
いと思います。それが縦と横が変わるだけで、子どもたちの頭の中  
は混乱するようなどころがあるのではないかと思います。

委員           そうすると縦書きの教科書の場合、縦に書いていく感じのほうが  
よいですかね。

委員           教科書は横のほうが見やすいという意見は確かにあるなと思いま  
す。ただ、これから家事を手伝うといった時のことを考えるとパソコ  
ンでサイトを見たりすると思うのですが、すべて縦だと思います。ま  
ずは横のほうが見やすいという意見はそれはそれでよいと思うので  
すが、日常生活を考えると、これからの生活はほとんど縦、スクロ  
ールの世界になっていくので、そういったことを考えると、縦という  
のもあながち悪くないのかなとも思います。

## 【技術】           調査員の入室・報告

委員長           それでは、何か質問のある委員の方はお願いいたします。

委員           学習指導要領が改訂されまして、小学校ではプログラミングが導  
入されていますが、特に中学校で今回の改定でこのように変わって  
いく、というのがありましたら教えてください。

調査員           この1年間、秦野市の部会等でも内容Dの情報と技術の中のプロ  
グラミングについては話題になりました。ただプログラミングの仕  
組みを学習してフローチャート等でプログラムを作るだけではなく、  
相互関係、ユーザー間でのやり取りを実際にパソコン、コンピュー  
ターを使って授業で扱っていくというところが、一番のメインとい  
いますか、課題として部会での研究を進めてきました。そのところが  
教科書でよく注目したところにはなりません。

開隆堂の報告にも記載させていただいたのですが、ただフローチャ  
ートだけではなくて、多彩な視点で見られるように、アクティビティ  
図を取り上げているかなと思います。東京書籍と教育図書もフロー  
チャートを中心に、開隆堂と同じくらい事例は載っています。

委員 そのあたりについては、今までの教科書よりも扱っている内容が細かくなっているということでしょうか。

調査員 そうですね。

委員 別冊についてお聞きしたいのですが、今使ってられるのが東京書籍ですよ。別冊はないということなのですが、今回教育図書にハンドブックという別冊があることについて、先生はこれを見て活用などについて率直なご意見などがあれば教えていただきたいと思っています。

調査員 別冊がない教科書ですとその他の知識等の関連が載っておりまして、範囲というか、スペースが狭まってしまうので、別冊ですと資料として扱えるように絵などが多く表示されているので、見やすいなと思います。教科書と並行して実際に使っていけるかなと思います。

委員 使えそうな形でしょうか。

調査員 そうですね、はい。

委員 今の質問と関連なのですが、教育図書は本体の厚みがあると思うのですが、それにさらにハンドブックがついているということで、情報量的には他の二つと比べてどうなのでしょう。例えば本体のみで比べた時、いかがでしょうか。

調査員 別冊を抜くと、ページ数としてはそんなに差はないです。イラストの資料として見やすく別冊がついているので、内容はそこまで劣ったりすることはないです。

委員 厚みで比べると、かなり違うのですね。重さもですね。でもそこまで変わらないということですね。

調査員 そうですね。

委員 東京書籍は最初の技術分野のガイダンスのところで逆転の発想などが紹介されていて、すごくつかみがいいというか、自分たちの身の回りで何気なく接しているものが、あるところで誰かがすごくよく

考えて作られていたというのが分かると思います。

私が先生だったら、これを使ってまず子どもの心をつかみたいなど思うのですが、他の教科書も同様の導入部分の工夫がされているのか、生徒たちの気持ちを掴んで生活とこれから学ぶものを近づけさせるような工夫がされているのかということをお教えいただきたいと思っています。

もう一つ、コンピュータープログラムのところでスクラッチを各者が取り扱っていると思うのですが、今掲載されているUIは作られた当時のものなので、おそらく数年に渡ってどんどん変わっていくと思います。この先、変わっていくことに関して、どのように考えられているのか。教科書の話じゃないのかもしれませんが、いかがでしょうか。

調査員

ガイダンスですが、まず3年間を見通して1年生の最初の入学当初でこんなことを3年間学習していくよ、と説明をするのでいろいろな資料が載っているのですけれども、授業の展開の仕方次第かなと思っています。

二つ目については、ICTの進度が本当に早くて、5年持つかなと思っています。3年経ったら、たぶん内容が古くなってしまったりするかなと思っています。具体的なソフトやアプリが載ってしまっていて、実際取り扱うソフトや環境、パソコンなのかタブレットなのかといったところも変わってくると思うのですが、4・5年経ったら扱いづらくはなってしまうかなと思っています。ただ、教科書の選定は決まっていると思うので、5年周期で思うところではあります。

委員

プログラミングというところで見ると、教育図書はセンサーを使ったりですとか、スクラッチとかのレベルではなくて、ものを直接動かしてプログラミング教室のようなものが載っているのですけれども、実際今は中学校ではどの程度のレベルのものが行われているのでしょうか。

調査員

そうですね。小学校でプログラムが必修になって、仕組みとかフローチャートで物事の流れの考え方、例えばちょっとした朝の登校、給食の配膳という場面で、こうすると効率が良いという流れを確認していくというのを小学校で学習してきて来ますが、技術分野の授業数は少なく、やることは増えるのですね。

身の回りの自然に動く物の仕組みを学習してフローチャートで確認したり、実際にロボットを扱うことが指導要領で言われているのですが、メンテナンスの費用や時間を考えると画面上でのものになってしまったりします。体験はさせてあげたいと思っています。

委員 教育図書では本格的に書いてあるので、興味のある子は自分でやると思うので、参考にして夏休みとかにやってくれるのかなと思います。逆に参考としていろいろ書いてあるので、自分で調べてみるという使い方もできるのかなと思いました。

委員長 よろしいですか。それではありがとうございました。

#### 調査員退出 以後、審議

委員長 技術科に関してご意見いただければと思います。

委員 他の教科書の時に、別冊をなくしていくというお話があったかと思いましたが、教科ごとに個別に考えるということでもいいですかね。

委員 教育図書の別冊は中学校を卒業した後も使える、家に一冊あるととても助かるような気がしました。工具について、どういうときに使うかなどが書いてあって、本の大きさではなくハンドブックの大きさだと、なかなかいいなと思いました。学校で使うのとはまた別の観点になってしまうかと思いますが。

委員 先ほど質問させてもらったのですが、東京書籍の最初のガイドンスのページは素晴らしいなと思いました。工夫・想像が技術を変えるところが、さっき美術のときのデザインの話とも関連するのですが、自分たちの生活と今やっている学習をどうリンクさせるのか、今までにないすごい発明をするということではなくて、気付くか気付かないかの違いだけで、こんな発明ができるんだよというのを端的に表してくれている例としては素晴らしいと思います。

委員長 他よろしいでしょうか。では技術についてはこれで終わりにしたいと思います。

【保健体育】 調査員の入室・報告

委員長 それでは何か御質問等ございますでしょうか。

委員 先ほどお話いただく中で、どの教科書も課題解決学習について充実した内容になっているということで、特に各者の中で課題解決学習に関係していくための手立てとして特徴的なものがあるのか、ほとんど一緒なのか、いかがでしょうか。

調査員 見開きのページですと、ほぼ同じになるかなと思います。課題をつかむに始まって、課題を解決するための知識を得るために調べたり話し合ったりする活動を通して、最後にまとめるという流れになっています。それには各者そう大きな違いはないと感じました。

委員 課題解決型で取り組むことで実生活に生かしていくという流れの中で、学校図書は情報を精査して1ページ当たりの情報量を少なめにしている、学研については知識の量が最も多く得られる教科書というお話があったのですが、指導者が活用していく中で、どっちが使い勝手がよさそうでしょうか。

調査員 指導者側にとっては、学研のように知識の項目がたくさんありますと他に広げることのできるのも、とても助かるのかなと思います。ただ生徒からしますと、ページにたくさん言葉が並んでいるということへの抵抗を感じたりするところもあるかなと思いますので、東京書籍や大修館書店はユニバーサルデザインとフォントも使用しているのも、色も柔らかく文字量も少なくなっている方が好むかなというようには思いました。

委員 一長一短なのですね。ありがとうございます。

委員 大日本図書は今回左右に分けるといふかなり大胆な構成をされて

いるのですが、斬新という捉え方もあるし、これからの使い方次第だとは思いますが、あまりにも今までと差があつて、教師側、子ども側にとってそういった点の差異によるやりやすさややりにくさなどは、ありそうですか。先生個人の見解でよいのですが。

調査員 我々調査員の中で話した時には、やはり資料やグラフが右や左に散っている方が子どもとしては目移りやすくて話を聞けなくなってしまうことが多いのではないかと話しました。そういった意味ではこれまで見たことなかったのですが、資料をはっきり分けていた方が学習への取組がしやすいのではないかという話をしましたし、私もそのような印象を持っています。

委員 右側を資料集的な扱いができるメリットになっているということですか。

調査員 はい。

委員 今コロナ対策ということでざっと感染症という目次で引っ張ると、出版社によってたくさんページが載っているところと、あっさりしているところがあるのですが、このあたりはやはり情報量が違うものでしょうか。

調査員 学習指導要領では、「感染症と病原体」という単元と「感染症とその予防」という二つの観点が用意されています。それに対して私も気になって見ていて、学研などは一つにそれをまとめて4ページほどでやっていたりとか、大修館はそれを3つに分けていたりするのですけれども、押さえない内容としてはそう大きく変わりはないかなと思います。ただ大修館の資料のところには、マスクの事ですとかちやうど今話題になっているものが出ていたかなと思います。3つに分けた分、そういった資料は多く用意できたのかなと思いました。

委員 感染経路の断ち方等、まさに今旬の内容が非常に細かく大修館は載っているなと思いました。

委員長 その他いかがでしょうか。



委員 性教育をどうしようかなと悩んでいるところなのですが、性とどう向き合うかというところで、学研と大修館は最初の課題をつかむというところで、そのまま見ても思い当たる節があるかな、ないかなという形で入りやすいのかなという印象を受けたのですが、指導側の観点から言うと、こういう構成の違いというのは特に気にならないものでしょうか。

調査員 実際に教科書の段取りに従って行うような単元と、学習指導要領に明記されている目的を達成するために教科書とは一旦離れたところから導入したりすることがありますので、そういった意味では本当に最近あった話題を伝えることが生徒の関心を高めることにつながるかなと思います。そのため、導入の部分が教科書によって違っても我々としてはそんなに戸惑うことはなく授業に入れるかなと思います。

委員 先ほど大修館は神奈川県の記事を使用していることが多いかなというお話があったかと思うのですが、具体的にはどのようなのでしょうか。

調査員 秦野であれば、71ページをご覧くださいませでしょうか。大修館です。こういった資料がなるべく県内の物が多く用意されていて、75ページのほうでも小田原市の中学校の物が載っていたりですとか、なるべく神奈川の題材を入れようとする取組が見えました。他にもたくさんあるのですが。

委員 よろしいでしょうか。それでは終わりにしたいと思います。

**調査員退出 以後、審議**

委員長 それでは皆様の御意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

委員 県の調査報告を見ても、大修館は本当に神奈川県を取り上げている数がずば抜けて多いと思いました。

委員 事前に教科書を見た時に、東京書籍や学研は昔の教科書らしいなという感じで見えていたのですが。

委員 すごく特色があって、甲乙つけにくいところはあるのですが、東京書籍は巻頭巻末にコラムなどがたくさんあって、目次にも紹介されていて使いやすいかな言う感じがしました。また章末の資料がとてもコンパクトにまとめられていて、わかりやすいという印象を持ちました。

大日本図書については、学習と章のまとめが用語解説にもなっていて、利便性があるなと思いました。それと、学びを生かそうという学びを身近なことに結び付けて考えるための内容がいいかなと思いました。

大修館については今話題に上がった通り、県内の資料がたくさんあり子どもたちが興味や関心を持ちやすいのかなと思います。章のまとめやそれぞれドリル的な取り組みで巻末に回答があって、とても使いやすいかなという感想です。学研については、ちょっと解説のスペースが見にくいかなと思っています。最後の章のまとめに少し丁寧さが欲しいなという感想を持ちました。感想ということでお話をしました。

委員長 よろしいでしょうか。それでは保健体育は閉じていきたいと思えます。

【英語】 調査員の入室・報告

委員長 ありがとうございます。何か御質問等ございますでしょうか。

委員 二つありまして、一つは、NEW HORIZONだけ大きいですよ。これはどのように見てらっしゃるかということと、もう一つは内容になるのですが、NEW CROWNは1年生の最初のところで、教室で使う英語を一覧で示してくれていて、英語でそのまま教えるような授業をされるときに、最初に覚えておくとう便利ですし、教える側も便利だと思います。他の教科書はそういったものが見当たらなかったの、それを見てどうですかということをお聞かせい

ただきたいと思います。

調査員 NEW HORIZONは判型が大きく、他の出版社はA B判です。全体の授業時間数は変わらない中で、扱う語彙や英文量の増加に対しA 4判にすることで、ページ数を増やさず、材料、語彙数、内容の増加で対応しているのではないかという印象です。

個人的な印象ですけれども、最初にこの教科書を読んだときにNEW HORIZONはすごく量が増えたなという印象でした。2点目のNEW CROWNについてですが、教科書改訂前からそのページはありまして、やはり導入の時期に扱って絵を見ながらクラスルームイングリッシュが理解できるので、あるととても便利です。

委員 他はないのでしょうか。

調査員 そうですね。ただ実際には授業などである程度扱われているとは思いますが、ただ、改めてこうしてあると、確認するうえでも便利だと思います。

委員 大人になってから、英語、特にスピーキングで苦労しているのですが、光村図書のHere We Go!は最後に「LET's Talk」という教材があって、スピーキングを意識しているように感じるのですが、他の教科書も力を入れているといたしますか、工夫されているところはあるのでしょうか。

調査員 それぞれスピーキングでは即興的なものと、プロダクション的なものとあると思うのですが、個人的な意見になりますが、Here We Go!は繰り返しの教材を扱う、タイムラウンドという方法で教えるときによく使われるので、特にもう一度ストーリーをリテリング、言い直すようなことができるように作られています。

委員 小学校との連携というところでお願いします。小学校だとアルファベットを書くというところまでは指導して中学校に上がっていくので、どの教科書も基本的に最初は読んだり話したりをメインの活動として書いているようなのですが、その中で唯一開隆堂だけが報告の中に書くという活動が入っています。これは開隆堂だけなのか、それとも他者の教科書も多少書くことも取り入れながら最初の導入

がされているのか、教えていただけたらと思います。

委員 小中の連携を考えた時、話す・聞くという活動が導入のメインですよ。その中で、開隆堂のコメントを見た時に、読むこと話すこと、書くことの言語活動を活用し、と書いてあるのですが、ここは開隆堂だけでしょうか。

調査員 最初のLesson 1までで、例えばNEW CROWNは書きの部分がないわけではないです。

委員長 他の教科書でも、なぞる活動は出てきているのですよね。でも、開隆堂はABCを書こうという活動があって、アルファベットをしっかりとしているようなところは他の教科書に比べて早いのかなというところですよ。そこは一つの特徴として捉えていくのか、それとも授業やる側からすると、そんなに大きな差異はないのでしょうか。

調査員 極端に違うということはないと思います。

委員 4技能5領域はどの出版社もバランスよく組み立てられているという報告なのですが、英語のコミュニケーション能力を高めるためにはやはり聞くこと・話すことが大事だと思うのですね。

そういった中で、聞くことや話すこと、抵抗なく英語に触れる楽しさを感じ取ることができるような工夫がある教科書があったら聞かせていただきたいと思います。特段差異がないということであれば、それはそれで結構です。

調査員 どの教科書も学ぶところが多くありまして、情報や様々なものを受け入れることができたので、甲乙はつけがたいという印象です。

委員 私たちが学んだ時には、どうしても文法が先行して、そこから英語の学びが始まってくるような気がしたのですけれども、話していることが理解できたり、自分が思っていることや感じたことを英語でスピーチできるというところが、快感を得られるところだと思うのですよね。

ですので、そういったところで何か教科書の中で扱いやすいな、工夫があるなというところがあれば、教えていただきたいのですが、

特段どの教科書も差異はないということで、ALTも上手に活用しながら授業を組み立てていくということですよ。

委員 小学校からのつなぎのページが各者非常に工夫されていると思うのですが、中学校で使う教科書の出版社と小学校で使われている出版社、先生は同じ会社の方がやりやすいとか、やりにくいとかそういった感想があれば教えていただきたいと思います。

調査員 個人的になってしまいますけれども、つなぎのページがあるので乗り切れると思うのですが、やはり同じ教科書の方がやりやすいと思います。

委員 多分どの教科書もそうだと思うのですが、登場人物はずっと同じ感じでしょうか。3年間ストーリーが続くというのは、どの教科書も同じでしょうか。

調査員 はい、その通りです。

委員 教育出版の後ろに暗記シートがあるのですが、これは使えそうですか。

調査員 はい。話題になったのですが、ついに教科書にまでこういったものが入ってくるのだな、と話題になりました。

委員長 他にはいかがですか。それではありがとうございました。

#### 調査員退出 以後、審議

委員長 それではみなさんの御意見をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員 どの教科書も英語の学び方などが教科書の出だしのところで載っていました。なぜ今学ぶのかという捉え方もあるし、子どもたちが見た時にどれが一番しっくりくるのかなと見ていて思いました。見やすい・読みやすいというのは、どれなのかなとちょっと思いました。

それぞれの教科書に特徴があるのですけど。

委員 私は三省堂のNEW CROWNの導入の仕方はすごく生活に密着した、学校にありそうなところから入っていくということで、最初にこういうことを知っときたいな、と思いました

委員 ストーリー的にはHere We Go!かなと思ったところがあります。中身の文章を見ていると昔の英語の授業って簡単だったというか、あまり生活に役立たないなと感じていたのですが、すぐ使える文章がどんどん入るなと思いました。光村図書ですね。

委員 どの教科書も登場人物が最初に紹介されているのですね。これは親しみやすいですよ。この登場人物で一貫して一年間登場してくるというのは、興味も持てますよね。登場人物の扱い方が、どこまで紹介しているか、あっさりしているところもあれば、ちょっと興味を引くような紹介しているところもあって、その差はあるなと思いついて、とても好感を持ちました。

委員 NEW CROWNなのですが、他の教科書は日本に誰かがやってくるという想定でのストーリーの作りなのかなと思ったのですが、NEW CROWNは自分が海外に留学するといった視点なのかなと思いました。

例えばここは文具のチラシのところなのですが、「Buy 3 Get 1 Free」ってアメリカの広告でよくあるもので、アメリカに行くまでこういった表現を知らなかったのですが、最初に英語に接するときこういった表現を学べるというのは良いと思います。実際によく使いそうな表現も散りばめられてあるのだな、とこれを見て思ったことです。

冒頭のクラスで使う英語の言葉がまとめてあるものも含めて、そのあと中学生が外国とかに留学した時にすぐに使えるような内容を中心に組み立てているような印象を受けました。

委員 NEW CROWNの2年生の20ページのところの、いわゆる前置詞は結構苦勞する部分だと思います。英語はイメージだと良く言うと思うのですが、言葉はこういうイメージで話されているんだよね、というところがあったりして、工夫されているなと思いまし

た。

委員 小中連携ということで、小学校で今使っている教科書の作りやイラストのイメージというものも、中学校に入ったときにつながりがあったほうが連携するうえで大切で、子どもたちにとってもなじみやすいという側面があるということを考慮に入れていった方がいいと思います。

どんな教科書も最初は小学校の復習的なものがあると報告があったのですが、三省堂には小学校でやった絵カードなどが最初に入ってくるので、「あ、ここやったな」というように、なんとなく入りやすいような印象があると思います。

委員 啓林館を見て感じたのですが、一貫して文法のまとめ方のスタイルが統一されていて見やすいなという感想を持ちました。また、全体的に紙面構成が落ち着いていて見やすいなと思いました。

それと、パートごとに書いてあるプラクティスとユーズの内容が似ていて、学習活動の違いがよく分からないかなといったような感想を持ったところです。

委員 啓林館は少し昔風の教科書の作りを踏襲しているのかな、というのが最初に感じた印象です。あとテンプレートがあるので、そこに言葉をはめていって、それを繰り返していくことで習熟していくようなところに特徴があるのかなと思いました。

委員 他にはいかがでしょうか。それでは終わりにしたいと思います。

## 【道徳】 調査員の入室・報告

委員長 ありがとうございました。それでは御質問があればと思います。いかがでしょうか。

委員 東京書籍の冒頭の見開きのところに議論の進め方が載っていますごくいいなと思いました。他の教科書ではそういうディスカッションの進め方などはなく、教師に任されるような形でしょうか。

調査員       ここまで丁寧なのは東京書籍かなと思います。最後の振り返りのところにA B C Dの4項目まできっちり書いてあり、司会の進め方も書いてあるなど、ここまできっちりしているのは東京書籍で、他の出版社は話し合いの仕方を紹介するなど工夫がされていますけれども、子どもたちが見てできるのは東京書籍かなと思います。

委員           普通の教科は授業の目的がはっきりしていたほうが子どもは分かりやすいと思うのですが、道徳に関しては今日の時間はこれやるんだというのが見えてしまうと結局議論が深まっていけないとか、子どもたちはきっと先生はこういう答えを望んでいるんだろうなというような先回りをしてしまう部分も見られて、深まっていけないところがあると思います。

                  そういう観点から行くと、先ほどご説明の中で、目次の中に非常に丁寧な説明が入っていて、中にはこれはいじめに関する事、これが次年度への準備に関する事、といったものがあるのですが、授業者として使い方、イメージとしてはいかがでしょうか。

調査員       調査員の中でもその話は出ておまして、教育出版はそこまで詳しくは出ていないです。言われなければ分からないといったような形になっている物の方がいいかな、という意見はありました。

                  それと、考えるテーマが決まっていると答えが見えてしまうのではないかというお話がありましたが、今は答えが見えてしまってもいいと思います。実際に子どもたちに言わせると答えが違っているんです。そこを再確認し、自分と同じ考えの人や違う人がいるんだ、というようにすることが大切になっています。なので、テーマを見せることがスタートで、そこから先に子どもたちが自分たちで答えを見つけていくという形になってきています。

                  前は最後を隠してこの話はこの後どうなる、というような道徳をしていた時期もありますが、今はそれをやると、子どもは当たった、外れたという感情で終わってしまうということで、今は最後まで答えを見せて、それでどう思う、というように進めます。

                  「いや、こんな話ないだろ」という子もいれば「すごく感動した」という子もいます。そこでの話し合いからさらに学びを深めていく、という進め方になってきています。

委員           学びの記録みたいなものを授業の中で書いていくような進め方に



なるのかなと思ったのですが、他の教科だと基本が出来ていてステップアップしていくと思います。けれども、道徳はなんとなくステップアップとは違うのかなと思っています。最後にまとめてそれを見ることに意味があるから、そうしているのでしょうか。

最後に学びの記録をつけることにどれくらい教育効果があるのかというのを教えていただければと思います。

調査員 道徳では話し合いの後にもう一度自分を見つめる、ということが必要なので、いろんな意見を聞いて、そこから自分はどうしていいかということを書きとめる、ということはとても大事なことだと思います。

それを積み上げていくと、あとで振り返ったときに、あの時の自分はこうだったけど、今はなんかちょっと大人になっている、と振り返りができる気がします。以前は狭い視野で物事を考えていたけど、今は自分の気持ちだけじゃなくて相手の気持ちを考えたり周りの状況を考えたりと、自分の考えが深まってきたなという形です。

成長が見られると職員は言うのですが、毎時間の中で最初はどうだったけど、友だちの意見を聞いてこう考えるようになった、というように大体子どもたちは書いてきてくれるので、その積み上げはよいことではないかなと思います。

ただ、その積み上げは各者それぞれ小さくシートに書くものであったり、シート1枚書くものであったり違いはありますが、それはそれぞれでよいかなと思います。

委員 一冊になっていた方がよいですか？

調査員 評価ということもしていくのですが、一冊になっていた方がよいので、今付録の話をさせていただきましたが、学校毎に道徳ファイルを準備して一枚一枚シートを閉じていくということもしています。

委員長 その他いかがでしょうか。

委員 読んでみると、言葉の重さとか、言葉から感じる物があるのだなと思いました。道徳って教科横断的と言いますか、つながりが出てくると思うのですね。それを明記している教科書もあれば、書いていない教科書もあると思うのですが、検討されたところで何かご意見は

ありましたか。

調査員 東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、学研あたりはそれぞれの教材とリンクしている教科が分かるように工夫されています。特に光村図書の場合、各教材の最後のところに深く考えて行動につながるようなことができるように、教科や日常生活との関連、他教科との関連、関連する図書の紹介というものがついている形になっています。あとはWebにつながっているものを開くと、関連する教科が出てくるものもあるのかなと思います。はっきり教材につながりが出ていたのは、私たちの調査の中では光村図書が顕著に出ていたかなと思います。

委員長 他にはよろしいでしょうか。それでは終わりにしたいと思います。

#### 調査員退出 以後、審議

委員長 それでは委員の皆さんの御意見を頂きたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員 教育出版では秦野と縁のある二宮尊徳の言葉が載っていました。秦野の子どもたちに伝えていけるのかなと思います。よく見ると日本教科書にも二宮尊徳のことが載っていました。

委員 表紙が昔に比べてとても可愛らしくなったなと思ったのですが、子どもたちにとってはどうなのでしょうね。こういった方がいいのでしょうか。

委員 そうですね、イラストというのでしょうか、可愛らしいですね。

委員 日本文教出版の怒りの感情と上手に付き合うところは具体的に自分がどうしていったらそれが収まるのかというのがあって、子どもたちも中学生くらいになると自分自身をコントロールできないことが起きるのではないかなと思うのですが、こういうのを作法としてやってみるとというのが載っているというのはいいなと思いました。

委員 道徳は資料に大きく影響されると思うのですね。学研は比較的最近活躍した著名人が多く取り扱われているのかな、と思います。数を実際見て比較したわけではないのですが、そういった聞き覚えのある有名な方が資料に載っていましたので、親しみやすいかなと思いました。

委員長 なかなか全部読み切るのは難しいと思いますが、資料のほうについてはいかがでしょうか。

委員 読んでいくと引き込まれてしまうようなものが多いかなと思いました。そしてそんなに長くなくて、読みやすいのかなと思います。

委員長 よろしいでしょうか。それでは道徳の方を終わりにしたいと思います。

委員長 以上で審議を終了いたしました。事務局お願いいたします。

事務局 審議のほう、ありがとうございます。本日は皆様に話し合っていた内容、ご意見を、事務局と採択検討委員長とで確認をさせていただきながら、「こういう点ではこの発行者がこういう特徴がある。」「この発行者はこういうことが話題になった。」というような形の表記で、報告書にまとめさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

なお、できあがりしました報告書は、採択検討委員長名で教育長へ提出をいたしますので、併せてご了承をお願いいたします。以上です。

委員長 今、報告書作成の手順について説明がありましたが、よろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 それでは、異議のないものとして確認されましたので、よろしくお願いたします。

委員長 次に附則第9条本について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 他の教科用図書と大きく性格が異なるものであります。  
ここで説明させていただく教科書は、主に特別支援学校（養護学校）および特別支援学級（障害児学級）で学習をしている児童・生徒が使用するものであります。児童・生徒によっては、知的発達の遅れや、障害の状況によって、在籍する学年の教科書は、その児童・生徒の日頃の学習活動に沿わない場合があります。

こうした、状況の児童・生徒に対して、特別に編集されたものや一般図書を提供して、その児童・生徒の状況に合わせた教科用図書の使用を認めるものです。

手続き的には、小中学校の特別支援学級の担任が保護者と話し合い、必要があれば、保護者の了解を得て、児童・生徒の実態と共に必要な図書を選定し教育委員会に書類で報告します。

これを受けて、選定した図書が、本当にその児童・生徒の教科用図書としてふさわしいかどうか、教育委員会の指導主事が児童・生徒の実態を確認し、資料を作成いたします。

この資料をもって、教育委員会会議で承認された場合、児童・生徒が来年度使用できる教科用図書に認定され、来年4月に供給されることとなります。以上です。

委員長 説明ありがとうございました。  
さて、この附則第9条本の採択についてご質問等ございませんか。

委員 なし

委員長 それでは、令和3年度に使用する附則第9条本については、今後、事務局が学校や保護者と連携をとる中で教育委員会議に提案していくとことをご理解をお願いいたします。

最後に、協議のまとめをして本日みなさんで話し合って決めたことを確認いたします。事務局、よろしくをお願いいたします。

事務局 協議結果を確認させていただきます。中学校の教科用図書については、本日の協議内容から報告書を作成し、教育委員会会議に提出、報告すること。附則第9条本については、保護者の了解の上で特別支援学級の個々の児童・生徒の必要に合わせて選定し、指導主事の確認作業を経て、教育委員会会議に議案として提出すること。以上です。

委員長 よろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 それでは、今日の内容につきましては、採択検討委員長名で、報告書を作成し提出しますのでご承知おきください。

これで、協議のすべてを終了します。事務局よろしく申し上げます。

事務局 本日は長時間にわたり、特に委員長におかれましては適切な進行をしていただきありがとうございました。委員の皆様におかれましても、熱心に協議いただき、多くのご意見をいただいたことに感謝申し上げます。

委員の皆様がお持ちの文書や本日までの会議内容の全てが、情報公開の対象となる内容です。公開の請求があった場合、検討委員のお名前、調査員のお名前も含め、この検討委員会に関わる資料につきましては、採択が一段落する8月定例教育委員会会議開催日以降の公開となります。

今日に至るまでに、多くの時間を教科書の調査研究に割いていただいたことに感謝いたします。

これをもちまして、令和2年度第2回秦野市教科用図書採択検討委員会を閉会させていただきます。お気をつけてお帰りください。